

経済協力シリーズ172

# 援助の社会的影響

佐藤 寛 編

アジア経済研究所

経済協力シリーズ第 172 号

# 援助の社会的影響

佐藤 寛 編

アジア経済研究所

## 援助の社会的影響

<執筆者略歴(執筆順)> (役職は1994年3月現在)

- 佐藤 寛(さとう ひろし) アジア経済研究所経済協力調査室  
1957年生まれ 専門は開発社会学, 地域研究(イエメン)  
1987-88年 イエメン・アラブ共和国にて, 日本大使館専門調査員(技術協力担当)
- 宗像 朗(むなかた あきら) FAO 専門家  
1961年生まれ 専門は開発経済学, 地域開発  
1987-88年 青年海外協力隊員としてマレーシア・サバ州の村落開発プロジェクトに派遣  
1992-93年 JICA 専門家としてフィリピンに派遣  
1993年10月~ FAO「ネパール国・シバプリ総合流域開発計画」に勤務
- 清田 明宏(せいた あきひろ) 財団法人結核予防会結核研究所国際協力部医師  
1961年生まれ 専門は公衆衛生, 国際保健, 結核対策  
1990-93年 JICA 専門家として, イエメン結核対策プロジェクトに派遣
- 吉田 正二(よしだ まさじ) 国際連合地域開発センター 都市・住宅ユニット研究員  
1959年生まれ 専門は建築・都市保全  
1989-92年 JICA 専門家として, イエメン・サナア旧市街保全計画に派遣
- 高根 務(たかね つとむ) アジア経済研究所総合研究部  
1963年生まれ 専門は開発研究  
1986-88年 青年海外協力隊員として, ガーナにて, 農村開発プロジェクトに従事
- 角田 宇子(かくた いえこ) 国際協力事業団医療協力部  
1960年生まれ 専門は開発人類学
- 天川 直子(あまかわ なおこ) アジア経済研究所経済協力調査室  
1965年生まれ 専門は地域研究(カンボジア)
- 福井 勝義(ふくい かつよし) 京都大学総合人間科学部教授  
1943年生まれ 専門は文化人類学  
1964年~ 東アフリカを中心に牧畜・焼畑社会の文化人類学的調査に従事。また, JICA 専門家・調査員として, 作物の多様性や焼畑に関する調査などに従事。

経済協力シリーズ第172号

### 援助の社会的影響

佐藤 寛 編

発行

アジア経済研究所 東京都新宿区市谷本村町42 電(3353)4231(代)

1994年9月30日発行© 無断転載禁ず 印刷/製本・安信印刷工業㈱

ISBN4-258-09172-3 C3033

発売

アジア経済出版会 東京都新宿区市谷本村町42 電(3353)1640

定価 3000 円 (本体 2913 円)



定価3000円 (本体2913円)

ISBN4-258-09172-3 C3033

# 目 次

まえがき ————— 佐藤 寛

序 章	「援助の社会的影響」研究の位置づけ	————— 佐藤 寛	3
	第1節 「援助研究」の位置づけ		3
	第2節 「開発の社会的側面」研究との関連		7
	第3節 本書の構成		9

## 第I部 援助と社会の反応

第1章	「援助の社会的影響」へのアプローチ	————— 佐藤 寛	17
	第1節 「効果」と「影響」		17
	第2節 量的アプローチと質的アプローチ		19
	第3節 援助にともなう固有性と普遍性		21
	第4節 受入れ社会の反応		23
	1. 基本的に受け入れられる場合		24
	2. 部分的には受け入れられる場合		25
	3. 受け入れないが積極的な拒否反応のない場合		27
	4. プロジェクトが受入れ社会とトラブルを引き起こす場合		28
	第5節 検討されるべき課題		30
	1. 対象集団の設定		30
	2. 動機づけ（インセンティブ）		31
	3. 「参加型プロジェクト」		31
	4. 援助へのアクセス		32
	5. 援助の吸収能力		33

## 第2章 ミクロレベルの村落開発プロジェクトがもたらす

### 社会的影響

—青年海外協力隊「マレーシア・サバ州村落開発  
プロジェクト」の事例から——宗像 朗…37

はじめに…37

#### 第1節 プロジェクトの概要…38

1. プロジェクトの背景…38
2. 協力活動の概要…41
3. ティナンゴール村の概況…42

#### 第2節 各分野における活動と成果 (effect) …45

1. 農業開発…45
2. 水資源開発…47
3. 保健衛生教育…49

#### 第3節 プロジェクトの社会的影響 (impact) …50

1. モデル村をとりまく社会関係への影響…51
2. モデル村内部の社会関係への影響…54
3. 既存の価値観への影響…56

#### 第4節 考察…58

#### 第5節 現地主義・現場主義の開発…60

## 第3章 保健医療援助における動機づけの問題

—被援助側の動機づけとインセンティブ——清田明宏…63

はじめに…63

#### 第1節 イエメン結核対策プロジェクト…65

1. プロジェクトの背景…65
2. 結核・結核対策とは…65
3. イエメン結核対策プロジェクトの問題…66
4. 対策…67
5. 実際の現場での問題点…67

6. イエメンの社会経済状況…69
- 第2節 イエメン結核対策プロジェクトにおける動機づけと  
インセンティブ…70
1. 動機づけの理論…71
  2. イエメン結核対策プロジェクトでの動機づけ・  
インセンティブ…73
  3. 援助における動機づけとインセンティブ  
(イエメン結核対策プロジェクトで何を行ったか) …76
- 第3節 インセンティブの利点・問題点、考察…78
1. インセンティブの利点…78
  2. インセンティブの問題点…78
  3. 援助におけるインセンティブ…79
- 第4章 歴史的都市における「保全的開発」の考え方  
——イエメンの「サナア旧市街保全」にかかわる  
諸問題をととして——————吉田正二…85
- 第1節 中東都市の開発と保全…85
1. 石油と急激な開発…85
  2. 歴史的都市保全の課題…88
- 第2節 サナア旧市街の保全…89
1. サナア旧市街…89
  2. 1970年代以降の変化…92
  3. サナア旧市街保全計画…94
- 第3節 援助と問題点…98
1. 旧市街保全計画の現状と問題点…98
  2. 旧市街保全にかかわる援助供与国側の問題…101
  3. 旧市街保全に関するイエメン側の問題点…103
  4. 必要とされる対応策…104
- 第4節 都市開発の社会的影響と開発援助…106



1. 都市開発の社会的影響…106
2. 今後の国際協力のあり方…109
3. 保全的開発と文化…111

## 第5章 援助の社会的影響のサインとしての摩擦・軋轢 ——佐藤 寛…117

### 第1節 摩擦・軋轢を取り上げる意味…117

### 第2節 摩擦・軋轢をめぐる諸アクター…119

1. 現場での供与側と受入れ側間の摩擦・軋轢…122
2. 受入れ側の行政と住民の間の摩擦・軋轢…123
3. 受入れ社会内部に発生する摩擦・軋轢…124

### 第3節 摩擦・軋轢の具体的事例…125

1. 食糧無償援助…126
2. 食糧増産援助…129
3. 見返り資金（第2KR）…131
4. 援助物資のディストリビューション…133

### 第4節 受入れ社会の状況に対する理解…137

## 第II部 援助と社会文化的要因

## 第6章 農村開発プロジェクトと社会文化的要因

——ガンビアの稲作プロジェクトの事例から—— ——高根 務…143  
はじめに…143

### 第1節 ガンビアの稲作プロジェクトと対象社会の相互関係…145

1. プロジェクト導入以前の社会文化的特徴…145
2. 灌漑稲作プロジェクト…147
3. 契約農業プロジェクト…153

### 第2節 結論…157

1. ガンビアの事例の問題点…157
2. 社会文化的要因を考慮に入れる意義…159

## 第7章 小規模灌漑プロジェクトと社会文化的要因

——フィリピンの事例から—— ————— 角田宇子…165

はじめに…165

第1節 フィリピンの灌漑システム…165

第2節 アパンギン小規模灌漑システムの概要…168

1. バガク市の概要…168
2. アパンギン CIS の概要…170

第3節 アパンギン CIS の問題点…176

1. 建設費返済の遅れ…176
2. 不公正な水配分と下流部の水不足、水利費の不払い…179
3. 水利組合集会への低い参加率…180
4. 共同作業への低い参加率…180
5. 水争いおよび組合間の管理調整のむずかしさ…181
6. 兼業農家の広がり…182

第4節 フィリピン社会における人間関係と集団組織のあり方…182

1. フィリピン社会の人間関係…182
2. フィリピン社会における上下のネットワークと「恩」…184
3. フィリピン社会における集団組織…187

第5節 アパンギン CIS の問題の考察…188

おわりに…194

## 第8章 開発と女性との関係

——ジェンダー概念の導入—— ————— 天川直子…201

はじめに…201

第1節 ジェンダー (gender) とは…202

第2節 従来の開発政策の問題点…205

第3節 開発政策における女性への政策的アプローチ…206

1. 分類…206
2. 「女性に配慮する」ことの多義性…209

むすび…211

第9章 文化人類学からみた地域開発のあり方 ————— 福井勝義…215

第1節 文化人類学は、どうして「地域開発」に

欠くことができないか…215

第2節 個別社会の内在性…217

第3節 土着の知識体系：民族科学…219

第4節 生きがいを支える装置…222

第5節 地域社会に根ざした「開発援助」を…225